Vol.21

尊厳をもってその人らしく生きていく社会を目指して

デイケアニュース

cover photo : Makoto KATOH

- message：野尻晋一理事
- event preview：第48回全国デイ・ケア研究大会2024 in 札幌・北海道
- report：リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023
- voice：活動と参加してみた！ 認定デイ・ケアマスターの声
- topics：在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース
- new series：すぽっと・らいと ～あなたの職場のプロフェッショナル～
- 会員施設紹介：介護老人保健施設 鴻池荘

一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Association for Day Care

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では石川県をはじめとする北陸の各県、さらには日本海側の広範囲に渡って甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。本会といたしましては、1月4日より日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）の一員として被災地支援に取り組んでおり、一日も早い復興に向けて全力で支援してまいります。皆様のお力添えを何卒よろしくお願いいたします。

一般社団法人全国デイ・ケア協会
会長　近藤 国嗣

「楽しむ力」を引き出す リハビリテーション・ケアの 必要性を再確認。

一般社団法人全国デイ・ケア協会　理事
介護老人保健施設清雅苑　施設長
野尻 晋一

如月になり、令和6年度の改定が目前です。トリプル改定に加え、最近の物価高騰や人員不足もあり、多岐にわたる準備が事業所に求められています。介護保険領域に限らず、社会全体がDX化の流れの中にあり、Society5.0へ向けたイノベーションを模索しています。近年のテクノロジーの進歩は指数関数的であり、その中で昨年、仙台で東京大学の池谷裕二教授の話を聴く機会がありました。池谷先生は海馬に関する研究から最近では脳とAIをつなぐ脳AIプロジェクトに取り組んでいます。その中で行われた「医療とAIそして脳」というテーマの講演は非常に興味深い内容で、特に印象的な点がありました。

池谷教授は、人間がAIに負けない部分として創造性、芸術、気遣い、気が利くなどを列挙しましたが、実はこれらはどれもAIが既に勝っている分野が多いと述べました。特に、「人には気遣いしなさい」のように「～しなさい」といった指示を受けることは、人間が得意な分野ではなく、それが本当に得意であれば指示がなくても自発的に行われるべきだと指摘しました。

具体的な例として、対戦式のシューティングゲームでの実験を紹介しました。AIを含むチームと人間だけのチームが対戦し、結果はAIが勝利しました。しかし、詳細な分析では、AIが本来最強の能力を活かすべき状況であるにもかかわらず、人間メンバーが自分のプレーを優先し、最適な戦術を取らなかったことが判明しました。この結果、AIは他のメンバーに気を配り、利他的に動くことで最終的には勝利を収めました。これにより、気配りはAIの方が勝っているとの結論が導かれました。

次に、「人間は何が得意か?」と問われ、アルファー碁の例が挙げられました。このAIはプロ棋士に勝利し、電脳戦は終了しましたが、囲碁を楽しむ高齢者たちがAIには勝てなくても、楽しむことに喜びを見出しているという事例が紹介されました。

このような事例から、人は最適化された結果を求めるよりも楽しむことが得意であるという結論が導かれました。テクノロジーがどれだけ進化しても、人間が本来得意とする「楽しむ力」を引き出すリハビリテーション・ケアが重要であると感じ、それを提供していく必要性が再確認されました。

当協会ではデイ・ケアはもちろん、生活期全体の基礎となる考え方や幅広い知識をしっかり押さえて軸足を固め、昨今の急激な制度・技術の変化に柔軟に対応していく「不易流行」の姿勢で研修制度の構築に臨んでいます。次年度も様々な研修を用意しておりますので是非皆様方の参加をお願いいたします。

知的好奇心は止まらない。止めてはいけない。

JADC研修会、新年度の予定を掲載。

当会では様々な研修会を企画しております。下記スケジュールをご確認の上、ご希望の研修会にお申し込みください。

JADC EVENT SCHEDULE

開催日		研修会	開催地・開催方法
2月	17日(土)	戦略的事業運営セミナー	東京開催
	24日(土)～25日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	オンライン開催
3月	1日(金)～3日(日)	在宅リハEGコース④	東京開催
	23日(土)	第11回デイ・ケアスキルアップセミナー	オンライン開催
	24日(日)	介護報酬改定セミナー	
4月	20日(土)	第9回三団体合同研修会 (日本介護支援専門員協会・日本訪問リハビリテーション協会・全国デイ・ケア協会共催)	沖縄県総合福祉センター (ハイブリッド開催)
5月	未定	明日から使える!初めての通所リハ実践研修会	オンライン開催
6月	未定	状態別対応セミナー　介護予防編	オンライン開催
	未定	状態別対応セミナー　中重度者編	
	27日(木)	経営戦略セミナー(仮)	北海道立道民活動センター「かでる2・7」
	28日(金)～29日(土)	第48回全国デイ・ケア研究大会2024 in札幌・北海道	

※最新情報は当会ホームページをご参照ください

公式LINEアカウントを開設しました。

当会ではLINE公式アカウントを開設しました。本アカウントでは、研修会情報や様々なお知らせ等を不定期に発信してまいります。是非とも友だち登録をよろしくお願いいたします。

LINE

要注目

会員限定

ON DEMAND

会員向け無料教育セミナー定期配信中

全国デイ・ケア協会では、会員限定にオンデマンド配信による教育セミナーを開催しています。第13弾は「経営的視点からみる在宅リハ事業」、第14弾は「職場におけるハラスメント対策について」を開催しました。視聴者アンケートからは大変好評をいただいています。本セミナーが会員の皆様のお役に立てますと幸いです。

会員向け無料教育セミナー　配信スケジュール

令和6年

1～2月配信　高齢者の骨折と転倒予防

3～4月配信　通所リハビリテーションとかかりつけ医の連携

令和6年度も多数の教育セミナーを企画中!!

第48回 全国デイ・ケア研究大会 2024 in 札幌・北海道

テーマ **Be ambitious！ 一歩先へ**

デイケア再興！～'24年度同時改定を力に変えるために～

会期 2024年6月28日(金)～29日(土)

会場 かでる2・7 北海道立道民活動センター

大会長 橋本 茂樹
(医療法人渓仁会 札幌渓仁会リハビリテーション病院 院長)

実行委員長 佐藤 義文
(医療法人渓仁会 札幌渓仁会リハビリテーション病院リハビリテーション 部長)

主催 一般社団法人 全国デイ・ケア協会

主管 医療法人渓仁会 札幌渓仁会リハビリテーション病院

羊が丘展望台でクラーク博士と

さあ、6月の札幌・北海道へ

来年度は診療報酬と介護報酬の同時改定の年です。徐々に内容が漏れ聞こえますが、決してデイケアにとって良い情報ばかりではないようです。腹を据えてこの改定を乗り越えなければなりません。毎年行っているアンケート調査では約半数のデイケア施設が赤字経営で、地域で十分力を発揮できない状況です。これからもっと加速する超高齢化社会において、デイケアの役割を果たすために上手に改定を力に変えなければなりません。「デイケア再興」のために、当研究大会は準備を進めております。帰るときには、「デイケア最高」と叫んで札幌から帰ってもらいたいと思っています。

今回は当渓仁会グループの医療法人と社会福祉法人が手を結び、また北海道のグループ外の施設の協力も得て、皆さんをおもてなしするために準備を進めております。

しっかり学び、しっかり楽しむには、6月の北海道は最高に良い季節です。皆さん、目を閉じて6月の北海道の大自然をイメージしてください。雄大な空と大地よりなる北海道でしか見れない素晴らしい景色と美味しい美味しい海鮮料理・お肉料理が皆さんをお待ちしております。

渓仁会グループ 協力施設

社会福祉法人渓仁会 介護老人保健施設
- コミュニティホーム白石
- コミュニティホーム八雲
- コミュニティホーム美唄
- コミュニティホーム岩内

グループ外協力施設

- (札幌) 北樹会病院／在宅リハケアセンターつきさっぷ通所リハビリ
- (函館) 西堀病院／通所リハビリテーション西堀
- (厚岸) 田中医院／デイケアセンターさくら

プログラム1日目

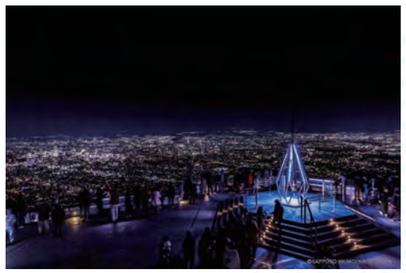
- 開会式
- 大会長講演
- 協会長講演
- 特別講演Ⅰ：介護報酬改定の行方
  上田 貴代氏（厚生労働省老健局老人保健課高齢者リハビリテーション推進官）
- 特別講演Ⅱ：鼎談＋リハビリテーションにかけた先人達からその神髄を学び、彼らの大志を今の自分たちの胸に再構。
  大田 仁史氏・浜村 明徳氏・斉藤 正身氏
- 教育講演Ⅰ：認知症の人への接し方の再考
  大島 寿美子氏（北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授／日本ユマニチュード学会 理事）

※全て仮テーマ

プログラム2日目

- 教育講演Ⅱ：生活期の上肢リハを再考
  竹林 崇氏（大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻 教授医学部リハビリテーション学科 教授）
- 教育講演Ⅲ：安全感染対策委員会企画
- 教育講演Ⅳ：デイケアでの歯科・栄養・リハのチームでの関わりかた再考
  佐々木 淳氏（医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長）
- 教育講演Ⅴ：介護報酬改定関連で検討中
- 教育講演Ⅵ・Ⅶ：協力施設企画
- シンポジウム1：デイケアにおけるICF再考
  向野 雅彦氏（北海道大学医学部リハビリテーション部）
- 老健事業報告
  染谷 和久氏（医療法人 真正会 霞ヶ関南病院情報戦略室 室長）
- シンポジウム2：研修認定委員会企画
  「認定デイ・ケアマスター／在宅リハEGコース修了者の実践報告」

※全て仮テーマ


藻岩山から見る札幌の夜景（日本新三大夜景）

リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島 2023

2023年10月26日（木）～27日（金）に広島県広島市の広島国際会議場において『リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023』が開催された。新型コロナウイルス感染症が発生してから様々なかたちの学会が運営されてきたが、本大会では久しぶりとなる完全リアル開催であった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、徐々に以前の生活を取り戻しつつあるなか、非常に多くの方が参加され大盛況な大会となった。

さて、本大会は天野純子大会長（医療法人ハートフル　アマノリハビリテーション病院　理事長）による開会宣言から始まった。次年度に控えた医療・介護・障害福祉のトリプル改定を見据えた講演や、地域リハビリテーション、認知症、医療介護DX等、非常に中身の濃いプログラムが開催され、参加者にとって学びの多い大会になったことだろう。

本大会において当会では、「調査研究事業からみる令和6年度介護報酬改定の動向」と題したパネルディスカッションを企画し、当会の岡野英樹理事が座長をつとめた。詳細は下記をご覧いただきたいと思うが、通所リハ・訪問リハそれぞれにおける今後の動向について、様々な調査結果を基に紐解いていく内容であった。当日は聴講者で会場がいっぱいになるほど盛況であり、次期改定へのヒントを望んでいる方が多いと実感されたセッションとなった。

次回の開催地は山梨。新たな学びの場になることを期待するばかりである。

主催団体シンポジウムの報告

テーマ【調査研究事業からみる令和6年度介護報酬改定の動向】

去る10月27日に広島国際会議場にて、『調査研究事業からみる令和6年度介護報酬改定の動向』をテーマにJADCによるパネルディスカッションを開催し、座長を岡野英樹JADC理事が務めた。

本パネルディスカッションは、令和4年度にJADCが実施した老健事業（老人保健事業推進等補助金老人保健健康増進等事業）で、事業テーマ『生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業』に関する結果報告と、結果から見る地域に期待される在宅リハビリテーション（以下、リハ）サービス提供体制への備えについて提案することを目的とした。

パネリストとして、まず染谷和久氏（医療法人真正会）から本調査を中心的に執り行った立場として、調査結果の概要と考察が説明された。リハマネジメントの提供体制では、加算の算定率こそ決して高くはないが、医師の指示内容、目標達成による修了、ケアマネジャーへの情報提供の質、あるいはリハ専門職の配置状況等について、同加算の算定事業所で充実していた。また事業規模別の傾向では、現在は規模が大きいほど基本報酬が減額されるが、報酬と反比例するように大規模ほど専門職配置が充実しており、医療的ケアの提供量や地域との交流活動が充足されていた。利用時間別の利用者の傾向では、その状態像にあわせたサービスが提供されていた一方で、修了の見込みがなく利用を継続しているケースが多くみられ、口腔や栄養面への働きかけは不十分であり、リハマネジメントの重要性が示唆された。

パネリスト2人目としてJADCの理事である野尻晋一氏（介護老人保健施設清雅苑）からは、通所リハ事業所の立場として、これまでの生活期リハに関する議論の変遷やデータヘルス改革、自身の事業所での取り組み等から、通所リハの課題および今後に向けた提言が報告された。

パネリスト3人目として、日本訪問リハ協会理事の三浦祐司氏（成島クリニック）からは訪問リハの立場として、特に医療介護連携をキーワードとして令和6年度介護報酬改定に向けた議論や、日本訪問リハ協会の調査データが紹介され、改定に向けた論点整理がなされた。

ディスカッションでは、要支援者へのサービス提供や医療介護連携のあり方、修了後のフォローアップ、リハマネジメントの普及に向けた方策が議論された。

通所リハおよび訪問リハは、各地域でコーディネート役を期待されるサービスでありながら未だ均霑（きんてん）化が図られていないと言える。視聴された方々が、改めてサービスの質を管理するためのリハマネジメントの重要性や、あわせて質の高い事業運営を行うための充実した体制整備の必要性を感じ、各地域で質の高い在宅リハを展開されることに期待している。

令和6年度 介護報酬改定の動向

来る令和６年度介護報酬改定が目前と迫っている。2023年12月19日に発表された「令和６年度介護報酬改定に関する審議報告」では、通所リハビリテーションの改定事項として21項目が掲載された。

- ★豪雪地帯等において急な気象状況の悪化等があった場合の通所介護費等の所要時間の取扱いの明確化
- ★通所リハビリテーションにおける機能訓練事業所の共生型サービス、基準該当サービスの提供の拡充
- ★医療機関のリハビリテーション計画書の受け取りの義務化
- ★退院後早期のリハビリテーション実施に向けた退院時情報連携の推進
- ★業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入
- ★高齢者虐待防止の推進
- ★身体的拘束等の適正化の推進
- ★訪問・通所リハビリテーションにおけるリハビリテーション、口腔、栄養の一体的取組の推進
- ★リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理に係る一体的計画書の見直し
- ★訪問及び通所リハビリテーションのみなし指定の見直し
- ★介護予防サービスにおけるリハビリテーションの質の向上に向けた評価（予防のみ）
- ★通所リハビリテーションの事業所規模別基本報酬の見直し
- ★ケアプラン作成に係る「主治の医師等」の明確化
- ★通所リハビリテーションにおける入浴介助加算（Ⅱ）の見直し
- ★科学的介護推進体制加算の見直し
- ★介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の一本化
- ★テレワークの取扱い
- ★外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し
- ★運動器機能向上加算の基本報酬への包括化（予防のみ）
- ★特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化
- ★通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

今改定においては、多機関との早期の連携強化、リハビリテーション機能の強化、LIFE活用の更なる評価や運用方法の見直し、職員の処遇改善等が主な内容といえる。とりわけ、リハビリテーション・口腔管理・栄養管理の一体的な取り組みがさらに評価される点や、規模区分の計算方法においてリハ職の配置割合やリハビリテーションマネジメント加算の算定割合が含まれたことは、リハビリテーション機能をさらに充実させる意味合いでも重要となるだろう。通所リハビリテーションにおいては、今改定の施行が６月となった。これまでよりも若干猶予期間があるため、改定事項に混乱しないように今から準備を進めていきたい。

活動と参加してみた!

@ 明日から使える！初めての通所リハ実践研修会

私は現在、診療所で外来リハビリテーションに従事しています。制度上、必要性を感じて短時間通所リハビリテーションの開設準備をしていたところ、折よく今回の研修会に参加させていただくことができました。本研修では「通所リハに求められる機能・役割」「明日から使える書類管理や制度の解釈」についてご講義いただき、「これからの通所リハに求められている機能・役割」についてグループワークを行いました。今まで通所リハビリは主に生活期の維持を目的としたアプローチというイメージを持っていたのですが、生活機能という観点で見た時に回復に向けた支援も担っていることを学び、気が引き締まりました。また科学的根拠に基づくケアのため、LIFEの重要性について認識することができました。医療外来併用短時間通所リハでの実際の運用についてもご講義いただき、自施設・地域においての役割を明確にすることで、外来リハビリや訪問リハビリなど、他サービスとの役割分担をされていることを知りました。私も自施設において、地域に必要とされる通所リハとしての役割を考え直し、在宅療養者の皆様を支援する一助となりたいと思います。貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。

医療法人篤友会　坂本診療所
理学療法士 田中 未佳

活動×参加

今回の活動と参加してみた！には「明日から使える！初めての通所リハ実践研修会」「リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023」にご参加された２名にご登場いただきました。様々な場で多くの発見や学びが感じられています。熱い想いをご一読ください。

活動と参加してみた!

@ リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023

本大会は「Enjoy your Life!〜参加を育む、だから攻めようリハビリテーション〜」というテーマで行われました。約2000人の参加者、867演題の発表があり、多職種の参加がある学会ならではの多くの視点から対象者の参加を考える大会でした。

私は7年ぶりに本大会に参加し2つの演題発表をしました。1つはデイケアでの脳卒中利用者の歩行機能と活動範囲の変化に関する症例報告、1つは院外活動として行なっている脳卒中者の交流の場作りの活動報告をしました。演題発表では多くの質問を頂き、院外の方々と意見交換する大変貴重な機会となりました。

参加した開催地企画シンポジウム「社会参加」では脳卒中当事者様からの発症から現在に至るまでの話を聴くことができました。その中で私はリハビリテーションが当事者にとって身体機能の改善だけでなく心の支えになっていることを知りました。

また、SNSで繋がっていたセラピストと直接会うことができ、お酒の席を共にすることで全国で活躍するセラピストの活動を知り大変良い交流となりました。

最後に、本大会では「参加」について意見交換ができたとともに多くの熱いセラピストと仲間になることができました。今後も「参加」に寄り添えるセラピストであり続けるよう研鑽を積んでいきたいと思いました。

札幌渓仁会リハビリテーション病院
理学療法士 神林 努

すぽっと・らいと

～あなたの職場のプロフェッショナル～

通所リハではリハビリスタッフ、看護師、介護職など様々なスタッフを中心にサービスを提供しております。本誌では前号より新たな企画として、通所リハで活躍している様々なスタッフを紹介していきます。

今回は医療法人社団永生会を力強く支えてくれているスタッフにスポットライトをあてて、管理栄養士の「鈴木真由美」さんに、お話を伺いました。

医療法人社団永生会
栄養ケア・ステーション、
永生クリニック、スマイル永生
管理栄養士 **鈴木 真由美**さん

Q 管理栄養士になったきっかけはなんでしょうか？

A 自分の好きなことは何か？
生きていくために必要なことは何か？
「食」を仕事にできたら、その職に就かなかったとしても自分や家族の生活に役立つと思い管理栄養士を目指しました。

Q 実際になってみてどうでしたか、また、病棟、栄養ケア・ステーション、通所リハで勤務してみての違いや気を付けていることはありますか？

A 始めは、学んできた栄養管理を一生懸命やろうとしていました。
病院では、回復期リハ、精神科、医療療養など違う病棟を経験し、病棟ごとに違う視点で栄養管理をする必要性があることを学びました。
栄養ケア・ステーションでは、訪問栄養指導と地域活動を通して食べるまでの食材購入や
準備を含めて支援していくことの難しさを経験しました。
通所リハでは、栄養指導とは違い医師の指示ではないため、注意しなければいけない点も多く多職種での情報共有が大切だと感じています。
栄養だけではなく、食べること全体を支えられるよう心がけています。
また、食には人生の物語があるので、栄養の前にその人を知る事を心がけています。

Q 仕事をしていての楽しさや大変さ

A 食に関しての情報は医療の他の情報と比べると情報量が多く、医療者でなくても見聞きすることができます。新しい食品や商品、栄養の考え方も日々新しくなっています。正しい情報を見極めながらアップデートしていくことは大変ですが、飽きることがなく楽しみでもあります。
育児と仕事の両立も大変ですが、食事の部分を効率化したり、情報を集めたりすることが家庭だけではなく仕事にも活かせているので一石二鳥だと考えています。

Q 多職種へのアドバイス

A 管理栄養士のイメージは栄養指導や食事制限など数字で管理されそうなのかと思います。
「好きな物を食べ続ける」ためのお手伝いができるのが管理栄養士です。
病気になっても、障害があっても好きな物を食べて欲しい。ちょっと工夫をしたら食べられる。食べ続けられる。つまずきに気づき繋げてもらえたら嬉しいです。
食事をしない方はいないので、挨拶と同じ感覚で食事の話をしてみて欲しい。
ご飯食べた？好きなものは？今度は何を食べにでかけるの？
きっとそれが食支援のスタートです。

Q 今後の抱負

A あなたに会えてよかったと思ってもらえる栄養士になっていきたいです。

認定デイ・ケアマスターの声

Master's Voice

東 孝洋（理学療法士）
医療法人社団 輝生会 成城リハケア病院

私は14年目の理学療法士です。外来・回復期病棟・短時間通所を経験した後、現在は中長時間通所の管理者補佐（サブマネジャー）を担い、一部訪問リハを兼務しつつケア・送迎業務を含めたデイケアに従事して7年目を迎えております。

認定デイ・ケアマスターを目指したきっかけは、デイケアニュースでの諸先輩方の『認定デイ・ケアマスターの声』を拝見したことでした。デイケアに関する、高い専門性と幅広い知識が得られ、今後のデイケアへの向き合い方を整理できる機会になると取得する決意をしました。まさか今回、自身が投稿する機会をいただけるとは全く想像もしておりませんでした。

私の従事している成城リハケア病院は東京都世田谷区に位置し、私自身も世田谷生まれ世田谷育ちであり、お世話になった地域のみなさんへの恩返しが出来たらとの思いで勤務しております。そのため、同級生の親族や馴染みのお店のスタッフ等も患者・利用者として対面することもしばしばあります。こうした方々と対峙する場面では、特にセラピスト冥利に尽きるときでもあります。また、地域の医療介護福祉関係者向けの研修会での講師役を任されたり、地域団地の自治会での体操教室に参加する機会等もあります。地域リハビリテーションの推進には、障害者個人へのアプローチ（直接的アプローチ）だけでなく、他施設・他専門職との連携することや地域住民へ働きかけるアプローチ（間接的アプローチ）が必要であると考えます。この二つを両立させた『ツイントラックアプローチ』で、地域リハ活動を推進していく必要があり、そうすることで、自立生活・社会参加の実現を目指していけるのではないかと考えます。

私の理想とするデイケアは、私自身が当事者になった際に通いたいと思えるデイケアです。質の高い専門職スタッフでのチームアプローチが実践され、接遇がしっかり行えており、個人の尊厳を大事にしてくれる、そんなデイケアに通いたいと思っています。これからも地域に求められるより良いデイケアを目指して、自己研鑽に励みながら貢献していきたいと思います。

TOPICS

EXPERT GENERALIST COURSE

在宅リハビリテーション エキスパート・ジェネラリストコース

令和５年度在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコースも、残るところ第４クールのみとなりました。今年度は最終クールのみではありますが、集合形式の開催を企画しました。オンラインにおいても活発な意見交換がなされていることを鑑みると、対面でのディスカッションはさらに熱を帯びることでしょう。介護報酬改定も目前と迫っている中、受講者の熱意と学びへの真摯な想いを感じております。

さて、早くも令和６年度の開催についてお知らせする時期となりました。次年度についても、オンラインと集合形式を組み合わせた開催方法を企画しています。募集人数が限られており狭き門ではありますが、多くの方のお申込みを心よりお待ちしております。詳細は下記および当協会ホームページをご参照ください。

※令和６年３月ごろ申込開始予定

【主催】 一般社団法人 全国デイ・ケア協会

【協力団体】 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

【令和6年度在宅リハEGコース日程】
①2024年８月３日（土）～４日（日）
②2024年10月11日（金）～13日（日）
③2024年12月６日（金）～８日（日）
④2025年１月10日（金）～12日（日）
⑤2025年３月１日（土）～２日（日）

【研修会場】 ①⑤集合開催（東京）
②③④オンライン開催

【研修費用】 一般 ￥120,000
認定デイ・ケアマスター ￥ 90,000

【対象】 主催または協力団体会員で、以下の条件に当てはまる方
●受講開始時点で経験５年以上（うち生活期の経験２年以上）の専門職　※施設長の推薦が必要
●医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・歯科衛生士のいずれかであること
●すべてのプログラムにご参加できる方
※会員が所属している法人職員も受講可能

【定員】 40名

【当協会ホームページ】 https://day-care.jp/kenshu-eg

会員施設自己紹介

医療法人鴻池会　介護老人保健施設
鴻池荘　通所リハビリテーション
〒639-2273 奈良県御所市池之内1064

沿革・概要

35年前の1988年に奈良県第一号の介護老人保健施設として開設し、同時にデイケアを定員15名で開所しました。現在は鴻池荘で100名、鴻池荘サテライト蜻蛉で55名の定員で、利用者の立場に立って、医療、保健、福祉の総合サービスを提供し、地域の皆さま方の自立を支援しています。

施設の特徴・取り組み

当施設では、“その人に合わせた個別支援”のプログラムを展開しています。

（認知症支援） 周囲と合わせることが苦手や気分が変わりやすくお休みされがちな利用者には、繰り返しのお迎えや利用日の振替え対応をしています。写真や作品・家庭用品をレイアウトした小規模な空間となっています。本人のペースに合わせて、本人のやりたいことを確認し、今までの趣味や生活歴を聴き取りながら、活動や生活リズムを整えます。認知機能と純音聴力検査を組み合わせた評価から個別のプログラムを提供しています。

（コグニバイク） コグニバイクでトレーニングをしつつ、その方の生活や脳機能を評価し、生活内で出来る認知症予防を提案し習慣化できるように支援しています。

（食のトータルサービス） いつまでも美味しく食べて頂けるよう、管理栄養士による栄養管理、言語聴覚士による飲み込み評価、歯科衛生士による口腔ケアを行っています。

（栄養教室） 学びの機会として、日々の食事内容を見直すきっかけや疾病予防、栄養改善に繋がることを目的に、毎月2回シリーズで栄養教室を開催しています。1回目はテーマに沿った栄養に関する知識を学び、2回目は実際の料理工程を見て学んで頂きます。

（外出リハビリ） 買い物、お墓参り、グランドゴルフ等を実現するために、自信を取り戻すこと、成果を実感すること、必要な身体機能を獲得すること等課題整理をして段階的なアプローチを行っています。

（地域住民への認知症予防教室） 認知症予防啓発事業を受託して、各地域の公民館で年間36回の教室を開催しています。地域住民と清掃活動やRUN伴などのイベントを通じた交流も図っています。

認知症予防教室

RUN伴

渉外活動

月初めに約50の居宅介護支援事業所へ毎月テーマを決めて訪問しています。ケアマネジャーと社会参加への移行による利用終了に繋げる連携と、新たにデイケアの利用が必要な方の紹介を頂き、地域の状況も共有しています。

また事例や作品紹介を掲載した“通所リハだより”を毎月発行しています。

このような活動の効果もあり、退院後から通所リハビリテーションを利用開始するまでの期間が短いほど機能回復が大きい傾向が見られる中で、令和5年度現在では退院から利用までにかかった日数は5.3日とケアマネジャーの意識が高いことが伺えます。これからもケアマネジメントとリハビリテーションマネジメントが効果的に機能するよう取り組んでいきたいと考えています。

通所リハだより▶

本コーナーにて「ぜひ私の施設を紹介したい！」という会員様は、事務局までご連絡をください。

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

当会の前身である、全国老人デイ・ケア連絡協議会は1994（平成6）年、老健のデイケアや病院・診療所のデイケア等、全国様々あるデイケアを提供する施設の有志が集まり、情報の共有化・職員の研修・研鑽の機会提供等を目的として開設し、これまで活動を続けてまいりました。

現在当会は介護報酬改定における通所リハビリテーションの窓口を担い、報酬改定時においてはリハビリテーションマネジメントと通所リハビリテーションの意義を問い、加算として位置づけ、質に関わる根幹を表現してまいりました。

また、重度者に対してもより手厚いケアが提供できるサービスとして、地域でのリハビリテーション資源として重要であることを明確にしてまいりました。生活行為向上リハビリテーションの普及については特に、厚生労働省および各種団体との連携役とし、研修や企画に参画し現在に至ります。

これも一重に、会員施設の皆様から頂いた多くのご意見や、ご協力の賜物でございます。

ついては、今後一層地域でのデイ・ケアの役割を全うするために、協会としてより多くの「声」を賜りたく、皆様のお力をお貸しください。

より一層、通所リハビリテーションが地域に必要とされ地域生活の中核を担うサービスとなるために、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

会員特典

Join Us

● 当会主催研修会、研究大会を会員価格にて参加可能

・全国デイ・ケア研究大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会　・主催研修会

※オンライン開催の研修会も多数企画していきます

●「デイケアニュース」の定期発送

・年2～3回発行しております。

各種研修会情報、協会の活動報告、トピックス、会員施設紹介などご提供しています。

● 制度関連や現場で困っていること等の問い合わせが可能

・原則、会員様のみご対応させていただいています。

● 会員ページの閲覧が可能

・各種資料のダウンロード、研究大会抄録集、当会実施アンケート結果などの閲覧が可能です。
今後さらなるリニューアルを検討しています。

● 会員への定期的なメール配信

・研修会案内

・制度関連情報　等

※正会員（事業所）の職員は全員上記特典の対象となります。

一般社団法人　全国デイ・ケア協会　事務局

住所：〒101-0047　東京都千代田区内神田2-4-2　一広グローバルビル5階

TEL：03（5207）2710　FAX：03（5207）2711

E-mail：info@day-care.jp　URL：www.day-care.jp

編集後記

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、本年度は全国デイ・ケア研究大会（八王子）・リハビリテーション・ケア合同研究大会（広島）共に対面にて開催することが出来ました。これは2019年以来4年ぶりのことで、オンラインでは成しえない積極的な意見交流の場となりました。ご参加頂いた皆様にはこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

次年度には診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定を控えています。改定対応や感染症動向に予断を許さない状況は続きますが、対象者様の活動・参加支援に役立つ情報提供を行える広報誌作成を目指します。今後とも宜しくお願い致します。

横濱 集（全国デイ・ケア協会　広報委員会）
在宅リハケアセンター　つきさっぷ通所リハビリ

デイケアニュース21号　2024年2月発行　編集／発行　一般社団法人 全国デイ・ケア協会